

議会運営委員会 会議録

令和 8 年 6 月 19 日（金）午後 1 時 30 分
小美玉市役所 3 階 議会委員会室

小 美 玉 市 議 会

議会運営委員会

令和8年6月19日(金)午後1時30分

議会委員会室

1. 開 会

2. 委員長あいさつ

3. 協議事項

①令和 8 年第 3 回定例会の日程について

②その他

4. 閉 会

出席委員（８名）

５番 山崎晴生君	６番 真家功君
８番 長津智之君	９番 島田清一郎君（副委員長）
１２番 石井旭君（議長）	１３番 谷仲和雄君（副議長）
１９番 市村文男君	２０番 荒川一秀君（委員長）

欠席委員（１名）

７番 香取憲一君

議案説明のため出席した者

市長公室長	植田賢一君	総務部長	滑川和明君
総務課長	片岡理一君		

議会事務局職員出席者

局長	佐川光
次長	高野雄司
次長補佐	寺家祐子
次長補佐	井坂義久
主任	鈴木将暉

午後 1 3 時 2 9 分 開会

○副委員長（島田清一郎君） 只今より議会運営委員会を開催いたします。

委員長あいさつ。荒川委員長お願いします。

○委員長（荒川一秀君） 改めまして皆さんご苦労さまでございます。

議会初日の議運の時突如、带状疱疹になって休ませてもらって申し訳ございません。

副委員長に代行をお願いして進めていただきました。ありがとうございました。

今日は最終日ということでございます。

本日は、追加議案及び全員協議会の協議事項が無いようですので次回定例会の予定などについてご協議いただきますのでよろしくお願い申し上げまして挨拶に代えさせていただきます。

大変ご苦労さまです。

○副委員長（島田清一郎君） ありがとうございました。協議に移ります。

協議の進行につきましては荒川委員長をお願いします。



1. 令和 8 年第 3 回定例会の日程について

○委員長（荒川一秀君） それでは、本日は追加議案及び全員協議会の協議事項がございませんので、第 3 回定例会の日程についてを協議いたします。

関係資料につきましてはスマートディスカッションに保存されています。

準備はよろしいでしょうか。それでは協議に入ります。

それでは、令和 8 年第 3 回定例会の日程でございます。

配布しております会期及び審議の予定表案をご覧ください。

会期は 8 月 28 日金曜日から 9 月 18 日金曜日の予定としています。

日程の詳細については、今後の状況によって柔軟に予定の変更など対応していきたいと思っておりますので、定例会前の議会運営委員会において改めて協議することといたしまして、そのほかについては会期及び審議の予定表案のとおりでよろしいですか。

〔「意義なし」の声あり〕

○委員長（荒川一秀君） 異議なしの声がありましたのでこのように進めさせていただきたいと思えます。

次に、9 月定例会は決算議会となりますので決算特別委員会を設置することになると思いま

すが、運営方法についてご協議いただきたいと思います。

長津委員。

○8番（長津智之君） ちょっと私思うんですけど、これ通告制になったのは私分からなかったんですがコロナの時期のころからなんですかね。

そろそろコロナも明けたんで通告制ではなく、今のまま通告制でやるかまた元の昔のように通常の決算の質問でやるか一回ここで区切り、前これ時間の絡みがあってやったのかどうか分からないんですけどちょっとその確認だけなんですけど。

○委員長（荒川一秀君） 石井旭君。

○議長（石井 旭君） 今の質問ですが、確かにコロナの時、笹目議長と私副議長の時に感染防止と、もう一つは小川支所と教育委員会がありまして、玉里とありましてそちらからくる形もありましたので、やはり通告制にしてやってみてはどうかということで今もきているんですが、今日長津議員からあったように今までもまた戻したらどうかなと、いつかは忘れたんですけど全協でもお話をしてこのままのほうが良いという回答を頂いているので、そのままきているのでそれを変えとなると全協にかけるしかないのかなと思います。

前にはかけてこのままでいくということで、いつの全協かは忘れたんですがそういう方向では決まっています。

○委員長（荒川一秀君） 長津智之君。

○8番（長津智之君） はい了解しました。じゃこのままで。その確認だけしました。

○委員長（荒川一秀君） そういう事でございますので今回は。

その内ですね、年度変わったとか何かでまた協議するということ、状況によって判断すれば良いということで、柔軟に対応していただきたいと思います。

それでは9月決算特別委員会は3月の予算特別委員会と同様の方法といたします。

また、正副委員長は慣例によりますと産業建設常任委員会になります。

このような日程でよろしいでしょうか。

山崎委員。

○5番（山崎晴生君） 決算特別委員会が11日の金曜日ということで、予備日として今までは決算特別委員会の次の日に予備日を構えていたと思うんですけども、金曜日の特別委員会のその次の日の月曜日は常任委員会が3つあって、最終日前の時に特別委員会の予備日になってますがこれって何か意図するところはあるんですか。

例えば決算特別委員会のほうが金曜日に今回やりますけど例えばここで終わらなかったって

いうと常任委員会はさんで一番最後の日にやるっていう形なんですか。

○委員長（荒川一秀君） 佐川議会事務局長。

○議会事務局長（佐川 光君） いま山崎委員からお話しが出たことについてお答えさせていただきます。

11 日に決算特別委員会を 1 日予定しまして、この 1 日は今まで過去の委員会の時間等を確認した中で 1 日ということで入れさせていただいております。

その他に万が一終わらなかった時のために予備日として 17 日を入れているんですが、特に 14, 15, 16 そのあと続けてやるのが通常かと思いますけども 1 日で大体終わるという想定のもとで特別委員会の日にちを委員会の後にしているだけです。特に何か意図があるわけではございません。

ですので、この委員会の中でその次が妥当ではないかというご判断であれば、そのように訂正をしたいと思います。

以上です。

○委員長（荒川一秀君） 山崎委員。

○5 番（山崎晴生君） まあ 100 パーセント終わるとは限らないので、別日で空けて特別委員会の予備日というよりは、7 日の月曜日が議案調査日になっているので、それ 1 個ずらして決算特別委員会の後に特別委員会の予備日にして、17 日の木曜日は、まあ最終日は同じだとしてもですね、そこを休会扱いにして 18 日最終日でもいいのかなという感じはしてます。

以上です。

○委員長（荒川一秀君） 井坂議会事務局次長補佐。

○議会事務局次長補佐（井坂義久君） 先ほどの山崎委員のご質問にお答えします。

会期の予定表の⑤決算特別委員会の質疑通告締め切りから決算特別委員会の答弁配布まで中 5.5 日ございます。

こちらのほうは、まず 2.5 日が答弁の作成プラスその後の 2 日間が答弁を各委員会ごとに総務課のほうで整列をしなくてははいけません。その 2 日となっております。

あと 1 日が総務課での最終答弁のチェックということで、5.5 日間執行部と協議して今回の会期を予定ということで決めさせていただいてますのでご検討していただければと思います。

さらに最終日前の 17 日の特別委員会の予備日、こちらは活性化なり定数なり他の特別委員会の予備日という扱いで今回取らせていただいている部分もあります。

以上でございます。

○委員長（荒川一秀君） まず 18 日で終わるというのは彼岸が入っちゃうんで、その中で調整してそうすると 8 月 28 日からスタートだと。

議案審査が長いんだけどやっぱり通告制だからそれに対して執行部同志でやるとこの日にちがほしいというのが執行部の要望で、今までの事例で終わった結果を見ますと決算は 1 日で終わっているというようなことでこれなんだよね。

ですから 5 時過ぎても少しはしょうがないのかなと思う、どうしてもあれのときは。

だからその辺のところでこれで進めていくような形でどうですか山崎君。

○5 番（山崎晴生君） 内容はよくわかりました。

5.5 であれば 6 日間ぐらい一般質問最終日に特別委員会通告の返答があるのかなというところで 5.5 以上は取ってあるところではあると思うので。

分かりました。以上です。

○委員長（荒川一秀君） 他にございませんか。

[「なし」の声あり]

2. その他

○委員長（荒川一秀君） 次にその他ですが議長のほうからお願いします。

○議長（石井 旭君） 私のほうから報告等 2 つあります。

はじめに本会議における執行部の出席者につきましては、市長から説明員の報告がありましたのでご報告を致します。

鈴木和広市民生活部長が説明員として出席しますのでよろしくお願いします。

次に、小美玉市選挙管理委員会委員及び補充員を決めることについて説明させていただきます。

選挙管理委員会委員等の任期が令和 8 年 6 月 19 日で満了するため委員と補充員を決める必要があります。

そこで、選挙管理委員会委員及び補充員の決定は議会の選挙によるものとする地方自治法の定めがあります。

また、同法においては選挙によらず指名推薦の方法によることも可能としていますが、指名推薦の方法による場合は議員の中から異議がない場合といった条件が定められています。

このような手続きを確認いただいたうえで、本会議での選挙管理委員会委員等の決定については本会議先例集の規定のとおり指名推薦の方法により行いたいと思います。

指名推薦の選挙管理委員会委員 4 名と補充員 4 名はお配りした指名推薦案によりご説明いたしますと、まず委員 4 名については現職から、谷島和氏、大山進氏、伊野美也氏の 3 名を、そして新任の 1 名が元教育委員会委員の柴田千春氏です。

続いて補充員 4 名については現職から、川崎明祐氏、菊地稔氏の 2 名、新任が 2 名となり一人目が元市職員の鈴木定男氏、2 人目が男女共同参画推進委員会委員等を務められている藤田友子氏を指名推薦するものいたしますのでよろしくお願い致します。

○委員長（荒川一秀君） 以上議長から終わりました。

これは総務だな。部長これね、メンバー表はあるんだけど出身地は書いてないのかな。

というのは、これはバランス制考えられると思うんだよね、今までの慣例でな。

その辺のところこれだけだというと、近くにいる人とか知り合いは分かるんだけど、どこに住んでいる人かわからないんだよね。

それちょっと明記しておいたほうがいいかな。地区名とか。

滑川総務部長。

○総務部長（滑川和明君） 1 番から申し上げますと谷島和氏は小川地区、大山進氏は玉里地区ですね、伊野美也氏については小川地区です。柴田千春氏については美野里地区、川崎明祐氏については小川地区、鈴木定男氏については美野里地区、藤田友子氏も美野里地区、菊地稔氏が玉里地区。

○委員長（荒川一秀君） とりあえずバランスよく入っているということだな。

それだけはある程度やってもらわないと地域性が分かんないと、選挙の場合。

真家委員。

○6 番（真家 功君） これは市の案で、本人の承諾はどういう状況なんですか。

○委員長（荒川一秀君） 滑川総務部長。

○総務部長（滑川和明君） 一応内諾ということで頂いております、今回議長推薦ということで議会の中で推薦していただいて決定ということになります。

○委員長（荒川一秀君） 真家委員。

○6 番（真家 功君） 本人承諾であればいいのですが、ちょっと気になったのが伊野美也さんは血を吐いたりいろいろやってますよね。

小川支所で選挙事務をやっていて、血を吐いて大騒ぎになったような状況なので体調的に本当に大丈夫なのかなってちょっと私心配だなと。

○委員長（荒川一秀君） 滑川総務部長。

○**総務部長（滑川和明君）** 最近のご様子を見るとお元気そうで、委員の中からは年齢的な部分のご指摘等がご心配だと思うんですけど、そういった部分を次期改選の時には担い手という意味も含め検討していきます。今回においては、議長のほうで推薦させていただいた方たちでご承認いただき、次期については、そういったご意見も含みながら選考については検討したいと思います。

○**委員長（荒川一秀君）** 真家委員。

○**6番（真家 功君）** はい解りました。

○**委員長（荒川一秀君）** 長津委員。

○**8番（長津智之君）** ちょっといいですか。議会の中で議長推薦といえこれでもいいんですが実はですねこれ小川、美野里、玉里のあれではいいんですけど、これほとんど羽鳥地区だけだと思うんですね。玉里のほうはちゃんと上玉里と下玉里に分かれてんですけど、小川のほうもさっき聞くと分かれている、美野里地区でみんな羽鳥、もっとも羽鳥の議員さんが多いからこうなっちゃうのかな。

そういう地域バランスもやっぱり竹原地区、あのね色々こう考慮しないとこれから広がった以上はあるのかな、これはこれで結構ですけどそういうことです。

○**委員長（荒川一秀君）** 滑川総務部長。

○**総務部長（滑川和明君）** いま議員さんのほうからご意見いただいた部分を含めながら次期バランスよく整理のほう考えたいと思います。

○**委員長（荒川一秀君）** 私が言っているのはそこなんだよね。

やっぱり小川地区なら小川地区、美野里地区は美野里でもバランスは考えて、なかなか受け取ってくれる人はいないかも知んない、難しいかも知んないね。

委員長やった島田さんも亡くなっちゃって納場地区にいたんだけど、すぐに補充員が代わったという訳にいかないからその辺のバランス色々あるでしょうから、人選もなかなか難しいと思うのでよく考えてやって頂いてと思うんでよろしくお願いしたい。

他にないですか。

[「なし」の声あり]

○**委員長（荒川一秀君）** 次に議会活性化から。真家議会活性化特別委員会副委員長。

○**議会活性化特別委員会副委員長（真家 功君）** 議会報告会について報告いたします。

今回の議会報告会が7月4日13時半から16時ということで予定しております。

本庁2階の第2・3会議室を予定しております。

これにつきましては委員長より全協のほうで詳しく説明をする予定であります。

以上でございます。

○委員長（荒川一秀君） 次に佐川議会事務局長から。

○議会事務局長（佐川 光君） 一部事務組合の報告でございますが湖北水道企業団について戸田議員からご報告がございます。

また各種審議会の報告でございますが全員協議会フォルダに登録させていただいております。

○委員長（荒川一秀君） ほかに何かありましたらお願いします。

市村委員。

○19番（市村文男君） 私この間の議運で慣例ですからって進められまして、私はたまたま16日文教だったんですが出来れば変えて欲しいということでお願いしました。

前に2回ほど変えてもらった事があります。

その時は誰も何も意見も言わなかった。

そういうものですから私も、それで段取りもできている話しもしましたから、私もそのように引き下がりました。

みんなに迷惑をかけちゃうのかな、無理を言っでは迷惑をかけちゃうかなと思ひましてそのまま下がりました。

けどもいろんな段取りは議運で日程を決めてからのはずなんですね。

そのための議運でしょ。

だから以前にはそういうふうに2回ほど変えていただいた前例があります。

そのことについて私は不満を抱いておりますので、それだけ申し上げておきます。

○委員長（荒川一秀君） それ初日の話し、5日の時の話しで私欠席だった時の話し。

それは常任委員会の日程の調整の問題だね。

市村委員。

○19番（市村文男君） そうです。私としてはこの話をしたらおかしいですが、局長のほうに何日か前に電話はしているんですよ、もしかしたらという。

その時日程が自分でもわからなくていて、そういう事がありましたので私は非常に不満を持っていますけどもう過ぎたことですからいいです。

○委員長（荒川一秀君） 島田議員。

○9番（島田清一郎君） 私が慣例と申し上げたのは私の語学力が足りないもので謝ります。

ただ潜在的に日程の順番が皆さん頭の中に持ってるものですから、最初が総務委員会、次が

文教、次が産建という何となく頭の中に皆さん持っているものですから、その順番が皆さん頭の中に残っているという意味合いで私申し上げました。

いまお話し聞いていますと可能な限り変更はしたいんですけど、あの時期ですと皆さん予定は決めて一週間から三週間までは無いと思うんですが、そういうスパンでしたから皆さんにお尋ねした時に無理ですということがあったものですから、出来ればですねこの辺までだったら変えられるよという期限というんですかね、その辺は皆さんである程度持っていて後は委員長さんが相談しながらっていう形がベターかなと思うんですが、検討していただければと思います。

○委員長（荒川一秀君） 市村委員。

○19番（市村文男君） 私はだからそれ以上は言わなかったですし、議長も何も言わなかったしほかの委員長さんも何も言わない、誰も何も言わないそう言う状況だったものですから私は迷惑をかけないほうがいいだろうと思って私が休めばいいんだな、そう思いました。

○委員長（荒川一秀君） 石井議長。

○議長（石井 旭君） 議長は何も言わないという話しですが議運でやっている中に特別私が振られないのにそこで言うべきじゃないと、市村議長経験者なので分かるかと思うんですが、そこで議長が入って何のための議運であるかわからないんでそれで言いませんでした。

ただ今振られたものですからお話しすれば、やはり市村議員が都合悪くなった時は自分のところの常任委員長にまず一番先に相談すべきじゃないですかね。

そこに何名かで組んでるわけですから。その日程を変えるっていうのは先ほども言ったようにある程度のこの間の時期でも既に日程は実際に委員長さんに聞いて決まっていたわけですからそれを変えとなるとかなり大変だと思ったので、私は一言も言わなかったわけですがよろしくお願いします。

○委員長（荒川一秀君） 大体わかりました。これもう一回確認をしておいて共通意識をもたないと。

日程は今言ったように総務、文教、産建というパターンはだいたい通例なんだけど今までだって何回か入替えは委員長同志で話し合ってたよ。

これは出来ます。

ただ期間の問題でなるべくわかった時点で早めに通告したり何かしてお互いに委員長さんに話をして、委員長さん同志で総合的に話し合い協議をして議運にかけてやる、それが本筋だと思うんだよね。

そういうふうなときちゃんと何ていうか骨子というか筋だけは決めておかないとな。

そうしましょうよね、じゃないっていうと今回はね。

それで私の場合だって突発的だから休むほかなかったんだけど、ほんとね私が休んだからこうなって悪かったと思っているんだけど、でもそういうことでとにかくいろいろ生身の体だから誰もが、そして皆が集まってんだからみんなして協議しながら仲良くやっていきましょうよ。

そういうことでお願いします。市村委員。

○１９番（市村文男君） 私はその時最後に正副委員長と正副議長で今後そういう事があった時どうしたらいいかだけ話し合いをしておいてくださいと要望しました。

○委員長（荒川一秀君） だから今話しただけでいいですか、みんなでこうやって、よしそれで進めていきましょう、じゃないと角が立つようになっちゃうと仕方ないからな。

他にございませんか。

〔「なし」の声あり〕

○委員長（荒川一秀君） なければ以上で協議を閉じたいと思います。

○副委員長（島田清一郎君） 以上をもちまして議会運営委員会を閉会いたします。

お疲れ様でした。

午後 １４時４５分 閉会